

スペイン語初級作文（解答と解説）

第3課

1) 私は駅まで彼女を送って行った。
La acompañé hasta la estación.

- * * 解答を訂正します : acompañamos → acompañé
- * la estación. 定冠詞に注意. 公共の建物は周知なので, 定冠詞をつける.

2) 父が帰宅したとき, 私たちはテレビを見ていた。
Cuando mi padre llegó a casa, veíamos la televisión.

- * llegar a la casa も○. televisión には定冠詞をつける.
- * 点過去はある事象が「成立」したことを示す. ここでは父が llegar a casa した事実が生じたことを意味する. 一方, 線過去はそのような意味のない一般的な過去の事実を示す.

3) 私は海岸の散歩がとても気に入った。
Me gustó pasear por la playa.

- * en la playa も○. para la playa は×.
- * Me gustó el paseo por la playa. も○. pasear の次の前置詞 por や en は派生名詞 (paseo) でも同じものが使われる.
- * pasear に定冠詞をつけると△. el pasear は「散歩すること」が実体化する. わざわざ実体化する必要はなく, むしろ pasear という「動作」を表すだけほうが自然である. 一方, paseo ならば, 定冠詞をつけて, el paseo とし, 「散歩」を実体化したほうがよい.
- * el paseo de la playa は×. paseo は「散歩道」という意味(「海岸の散歩道」)になって, 具体化してしまう.

4) 君はそんなに働くべきではなかった。
No debiste trabajar tanto.

- * No tuviste que trabajar. は×. "no tener que" と "no haber que" は「…する必要がない」の意味になる.

5) 私たちはチリに5年間暮らしました。
Vivimos en Chile durante cinco años.

- * por cinco años も○. durante のほうが正確な「期間」を示す. por は「おおよその期間」を示す. 数量のない期間, たとえば la vacación などは durante を用いる. durante la vacación. / *por la vacación. ただし, por la mañana / tarde / noche は例外.

* Vivíamos ...は事実の成立を示さない. 何か別の事実が成立したとき(事件が起きたとき)の「背景」を示している.

6) 両親はいつも私たちと食事をします.

Los padres siempre comen con nosotros.

* Nuestros padres でも○. しかし, 文脈で nuestros であることはわかるので, los でよい. スペイン語では自明の所有詞は使わない.

* con nuestros は×. nuestro は所有形容詞. 前置詞の後では mí, ti 以外は主語代名詞を使う.

7) 私たちの大学はとても大きい.

Nuestra universidad es muy grande.

* La nuestra universidad は×. 所有詞は定冠詞の機能を含む.

8) このボールペンは君のですか?

¿Este bolígrafo es tuyo?

* * ¿Es este bolígrafo tuyo?も○.

* ¿Este es tu bolígrafo?も○. ただし, 前者は este bolígrafo を話題にしているが, 後者は単に指示物(éste)を話題にしているという違いがある.

9) 君たちの家はどこにあるのですか?

¿Dónde está vuestra casa?

10) 彼の自動車はよく走るが, 僕のはだめだ.

Su coche corre muy bien, pero el mío no.

* * no は no corre muy bien, no corre tanto が省略された形.

* 無冠詞の mío は×. 定冠詞+所有形容詞=所有代名詞となる.

* 副詞 muy bien はこの場所がよい. *Su coche muy bien corre. (# 副詞の種類によって, 位置が決まっているようだ. cf. ahora, aquí)

11) この椅子は座り心地がよいので, 好きです.

Esta silla es cómoda y me gusta.

* * Esta silla es cómoda, por eso me gusta.は○.

* * porque es muy cómodo sentarme en ella は△. 表現が少しくどい.

* * Como esta silla es cómoda y me gusta.は○. Me gusta esta silla, porque es cómodo. も○. Como...は主文の前に, porque...は主文の後に置く.

* me gusta ella.は×. ella は人称代名詞なので「人」または「擬人化した動物」を表す. 「物」を主語とするときは指示代名詞 ésta, esa, aquella にしなければならないが,

文脈で主語がわかればゼロ代名詞を使うほうがよい。

12) あの時計, おいくらですか?

¿Cuánto es aquel reloj?

* ¿Cuánto cuesta aquel reloj?は○.

* cuánto は副詞なので無変化. よって, 女性名詞や複数名詞を指していても cuánto が用いられる. ¿Cuánto / ×Cuánta es esta televisión. ¿Cuánto / ×Cuántos cuestan / valen estas botas?

* Aquel reloj, ¿cuánto es?も○. 主題化している.

13) このハンカチはだれのですか?

¿De quién es este pañuelo?

* * 訂正: aquel →este.

14) これは何ですか? — ポストです.

¿Qué es esto? - Es un buzón.

* * Es el buzón.は×. 相手に了解されていない. 以前に話題になっていた「ポスト」ならば○.

* esto を用いる. 質問するのだから, 名詞の性がわからないので, 中性形にする.

15) これが私たちの家です.

Ésta es nuestra casa.

*この場合は名詞 casa を指しているなので, 女性形(Ésta)を用いる.

16) 父はけっしてタバコを吸いません. 健康に悪いからです.

Mi padre nunca fuma, porque es malo para la salud.

* porque eso es malo para la salud.は△. とくに eso は必要ではありません.

* Mi padre no fuma nunca.も○. Mi padre nunca fuma のほうが否定の度合いが強い.

* porque fumar es malo para la salud も○. ただし, 文脈で es の主語が fumar することを指しているなので, とくに必要ではない. (# es の主語はゼロ代名詞であるが, これが指す内容は必ずしも先行表現と完全に一致するわけではないようだ. 語用論にかかわる.)

17) 私はめったに朝に新聞を読みません. いつも夜に読みます.

Apenas leo el periódico por la mañana. Siempre lo leo por la noche.

* el periódico に「総称」の定冠詞をつける. un periódico とすると「新聞を1紙も」と

いう意味で強調される。

* leer は他動詞であり、目的語が言及されているので、男性単数代名詞 lo を前置する。

** 複数の新聞なら periódicos も○。

18) 母はビールもワインも飲みませんでした。お酒が嫌いなのです。

Mi madre no bebió ni cerveza ni vino. No le gusta el alcohol.

** 解答を訂正します。padre→madre

* Le no gusta el alcohol. は×。目的語の代名詞は活用している動詞の直前に置きます。

** tomó も○。

** ni la cerveza ni el vino は△。特定化される。beber cerveza で「ビールを飲む」という意味になり、このときの「ビール」は特定化されず、全体で1つの動詞のようになる。

** no bebió cerveza ni vino も○。解答例の ni ... ni ... の形式は並列した物をまとめて否定する。no bebió cerveza ni vino は「cerveza を飲まなかったし、また vino も飲まなかった」という感じで、付加的に否定する。後者は y no ... と似ている。

* ni la cerveza ni el vino も○。無冠詞は名詞を「概念」にとどめ、定冠詞は実体化する。

* el alcohol は定冠詞があったほうがよい。すでに cerveza や vino が話題になっているので、「関連性」の定冠詞を使う。cf. Compré un reloj de segunda mano, pero la pila estaba agotada.

19) 私も酒があまり好きではありません。

A mí tampoco me gusta mucho alcohol.

** alcohol mucho は△。副詞は動詞のそばに置きます。

** tampoco だけで「あまり…でない」の意味になりませんか？ : tampoco は否定して付け足す機能をもった副詞で、それ自体に「量」を示すことはありません。cf. tan poco は「そんなに少なく」という意味になります。

** A mí の文法的働きは？ : me を強調して文頭におき、話題化します。代名詞に限らず、A Juan no le gusta estudiar.(フアンは勉強が嫌いだ) のように人名を先行させることもできます。ここでは A Juan と le は同じ人を指します。

** A mí tampoco no me gusta mucho alcohol. は×。否定語が動詞の前にあるときは no を使いません。

** A mí me gusta mucho alcohol tampoco. は×。A mí no me gusta mucho alcohol tampoco. は△

** A mí は必要ですか？ : 必ず必要ということではないが、対比させる要素を前に出した方がわかりやすい。

* この場合は alcohol の指している内容が実体化していない、むしろ「概念」にとど

まっているので, 無冠詞.

20) 誰も私を理解してくれなかった.

Nadie me comprendió.

*No me comprendió nadie.も可. ただし「否定」の強調の度合いが低い.